



中学生職場体験の受入れ

7月7日から8日の2日間、中学生の職場体験受入れを行いました。江東区内中学生男女4名です。

職場体験は江東区のキャリア教育の一環として実施されるものです。区内中学校から毎年数名の生徒さん達が地域の様々な業種の職場に行って、実体験を通して社会人としての心構え、業務理解を深め、将来の職業選択を真剣に考えてもらうことなどを目的としています。今回の当研究所での体験は、有機フッ素化合物を測定するため、実際に水の採取を都内の湧水池に出かけて実施しました。また、ヒートアイランド現象の研究に関わる緑のカーテン作りも行いました。環境に関する調査・分析の基本を理解してもらうため、簡易水質分析、模擬採水を体験し、データ(数値や五感で感じたもの)をまとめる演習を行いました。資料室にある、蔵書の整理も行いました。生徒の皆さんからは、「想像していたより楽しい体験ができた」、「普段できない貴重な体験ができた」、「環境に対する意識が変わった」、「研究のためにはたくさんのところへ行き準備が必要なことを知った」また、「この体験を今後の進路学習に役立てたい」などの感想が寄せられました。



都内湧水の現場採取の様子



学校教員職場体験の受入れ

7月22、23、25日の3日間、江東区内小・中学校教員2名の夏季課題別研修(職場体験)の受入れを行いました。この職場体験の受入れは江東区教育委員会からの依頼でここ数年間実施されているものです。23日の研究所の施設公開を中心に研究所の仕事を体験していただきました。施設公開当日はスライム作りと自転車発電コーナーを担当していただきました。先生は、「自分で作ったスライムをうれしそうに持ち帰る子供の笑顔が印象的でした。」と、話してくれました。体験後に先生から、「環境についての意識が高まった」「学校に戻ってからの生徒指導に、今日の経験を活かしたい」などの感想をいただきました。



スライム作り



自転車発電コーナー